

中学校第 1 学年(少人数標準コース) 英語科学習指導案

日時 平成 2 4 年 1 0 月 1 5 日 (月)
指導者 1 年担任 教諭 瀧川 尚樹

1 題材名 「中華街に行こう」 (ONE WORLD English Course 1 : Lesson 5)

2 題材について

(1) ねらいについて

本題材は、人やものについて説明や対話をしたり、場所についての情報を交換したりすることができることをねらいとしている。内容としては、アヤたちが中華街に向かう道すがら、人やものについて会話をしたり、場所や行き方についての情報をやりとりしたりするものである。

言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形が導入されている。これまでの話し手と聞き手という二者の関係から、友達や家族、有名人など、第三者に目を向けた幅広い表現活動が可能となる。人の紹介や人についての対話活動などを通して、今まで以上に表現することの喜びを感じさせることが期待できる。

(2) 生徒の実態について

※ 省略

(3) 指導にあたって

- 本単元では生徒が紹介したい有名人の中から 1 人を選び、その人について英語で説明したり、会話をしたりすることを目標とし、その達成に向けて段階的に指導を行う。
- 本単元で学習する三人称単数現在形は、日本語には存在しない使い方であり、多くの生徒が、どのような場合に s をつけるのかという点で混乱したり、付け忘れていたりすることが予想される。そこで、まず、導入において、like や play など、慣れ親しんだ動詞を使って、主語を変えながらどのようなときに「三人称単数現在」にあてはまるのか考えさせ、定着を図る。
- 雰囲気づくり及び教え合い学習の促進のため、ペア活動を取り入れるなど学習形態を工夫する。

ICT 活用のポイント

①教師の活用

- ・表現の土台となる文法事項の定着を図るために、新出文法事項の説明・練習の場面でパソコン（プレゼンテーションソフト）、プロジェクタとスクリーンを活用して、生徒が視覚的にとらえられるようにする。

②生徒の活用

- ・生徒の作品発表において、音声情報だけでなく文字情報も提示できるように、実物投影機を使って、自分の書いたもの（英作文）を映し出し、聞いている生徒が内容を理解しやすくする。

3 題材の目標

- ・人物について説明することができる。
- ・人物について尋ねたり、答えたりできる。
- ・場所について尋ねたり、答えたりできる。
- ・三人称単数現在形の文を理解し、否定文や疑問文をつくることができる。

4 題材の評価規準

コミュニケーション への関心・意欲・態度	①積極的に活動に取り組み、英語を使おうとしている。
外国語表現の能力	①人物の紹介文（クイズ）を英語で書くことができる。 ②人物について相手に伝わるように話すことができる。 ③場所について尋ねたり、答えたりすることができる。
外国語理解の能力	①教科書の文を聞いたり読んだりして、内容を理解できる。 ②人物に関する紹介（クイズ）を聞いて、内容を理解できる。
言語・文化に関する 知識・理解	①三人称単数現在形の動詞の変化や否定文・疑問文の つくり方が分かる。 ②新出単語の正しい発音・意味を理解できる。

5 指導計画および評価基準（１０時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	表	理	知	評価基準・評価方法
1	Lesson5 新出単語	フォニックスのルールに触れながら自力で発音できるようにする。				○	新出単語を自力で発音することができる。【観察】
2 (本時)	三人称単数現在形 一般動詞の変化	文法（三人称単数現在形の動詞の変化）の定着を図るため繰り返し練習を行う。				○	三人称単数現在形の動詞の変化を正しく理解している。【ノート】
3	三人称単数現在形 否定文	既習事項の don' tと比較しながら、説明を行う。				○	三人称単数現在形の否定文のつくり方を正しく理解している。【ノート】
4	自由英作文 「有名人 クイズ作り」	・事前に自分の興味のある有名人について情報収集をさせておく。	○				積極的に英語で書こうとしている。【観察・ワークシート】
		・ゴールを明確にするためクイズの例を提示する。		○			英文を正しく書くことができる。【ワークシート】

5	三人称単数現在形 疑問文と答え方	既習事項のDo～?と 比較しながら、説明 を行う。				○	三人称単数現在形 の否定文の作り方を 正しく理解してい る。【ワークシート】
6	教科書Part1・Part2 内容理解	発問を工夫するこ とで、ポイントをし ぼって聞き取り・読 み取りをさせる。				○	教科書本文の内容 を聞いたり、読んだ りして理解すること ができる。 【ワークシート】
7	活動 「有名人 クイズ大会」	・ 事前に作成した有 名人クイズを使用 する。（他クラス のものも） ・ ヒントのみで分か らない場合は質問 もさせる。	○				積極的に英語を使 おうとしている。 【観察】
						○	有名人の紹介文 （クイズ）を聞いて 内容を理解すること ができる。 【ワークシート】
8	場所を尋ねる 疑問詞whereの文	答え方に関しては 場所を表す前置詞も 合わせて教える。			○		場所について尋ね たり、答えたりする ことができる。 【観察・ワークシート】
9	教科書Part3・Part4 内容理解	発問を工夫するこ とで、ポイントをし ぼって聞き取り・読 み取りをさせる。				○	教科書本文の内容 を聞いたり、読んだ りして理解すること ができる。 【ワークシート】
10	Lesson5単元テスト スピーキング・ 文法・単語テスト	スピーキングテス トの際には写真・絵 を活用させる。スピ ーチ後はALTからの 質問に答える。			○		有名人について英 語で紹介や質疑応答 をすることができる。 【スピーキングテスト】
						○	新出単語や文法 （三人称単数現在 形）について理解し ている。 【ペーパーテスト】

6 本時の学習

(1) 目標 主語がI・You以外の単数の場合、動詞にs(es)がつくこと、及び動詞にs(es)をつけるつけ方が分かる。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される生徒の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 15分	1 ウォームアップ ・英語でのあいさつ。 2 復習 (教科書のリスニング) ・Lesson5 Part1のPreview「有名人クイズ」を聞かせる。 3 新出文法の導入 (T)イチロー選手の紹介をします。 動詞の音に注目して聞いてみよう。何か気づくことはないでしょうか。 (C)like (play) のうしろにス (ズ) の音が聞こえる。	・英語授業の雰囲気づくりを行う。 ・既習事項の復習を行う。 (Who is ～? He/She is～.) ・内容よりも音に注目して英語を聴かせる。 (内容は日本語で提示しておく)	デジタル教科書 PC プロジェクタ スクリーン
課題 「動詞に s がつく場合」、「動詞の s のつけ方」が分かる。			
展開 30分	4 文法の確認 (説明・練習) (1)かるたゲーム (T)主語をいくつか提示します。 動詞にsがつかないときは「×」、動詞にsがつくときは「s」のカードをとりましょう。 (C)いつ動詞にsがつくか分からない。 (T)どんなときに動詞にsがつくか、ルールに気づきましたか? (C)主語の人数が1人(1つ)のとき。 (2)sのつけ方の説明 (T)動詞にsをつけて読みましょう。 (C)likes、plays、goes?、haves? (T)動詞をいくつか示します。 Sのつけ方のルールに従って動詞を正しく変化させましょう。 5 応用練習 (音読・英作文) (T)教科書の登場人物の自己紹介文の主語をIからHe/Sheに変えて読みましょう。 (C)動詞にsをつける事を忘れている。 (T)英文をノートに書きましょう。 (C)一般動詞のsのつけ方の例外のルールを忘れている。	徹底指導 (ポイント) 初めから、いつ動詞にsがつくかのルールを教えるのではなく生徒が自ら気づくように促す。 ・視覚的に分かりやすいように文字・イラストを提示する。 ◆言語文化に関する知識・理解 (ノート) B基準主語に応じて動詞を適切な形に概ね変化させることができる。 A基準動詞を全て適切な形に変化させることができる。 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 ○動詞に注目させ、再度sのつけ方のルールを説明する。 能動型学習 (ポイント) 学習したルールを実際の使用場面で、正しく判断し、活用することができる。	PC プロジェクタ スクリーン

終 末 5 分	6 まとめ（本時の振り返り） (T) 今日学習したルールを、自分の ペアの人に説明しよう。 【言語活動】説明 必要な情報を整理して、相手に分 かりやすく伝えることができる。	・ 本時の学習の要点を再度 確認することで定着を図 る。	
------------------	--	--	--